

# チームワークでつなぐ勝利への道

和合病院野球部

監督

新田

英貴さん



今回は、第七十一回東海五  
県軟式野球大会で、通算4  
度目の優勝を飾った、和合  
病院野球部（スタッフ含め  
総勢46人）の監督 新田英  
貴さん（以下「監督」表記）  
にお話を伺いました。

——まず、病院で野球部を創部さ  
れた、いきさつを教えてください。

**監督** 昭和55年8月1日に、会長  
が、和合病院をアクティビティ  
（活気）の高い病院にしたいとい  
う思いで始めました。

おかげで、実際に試合を気に  
してくださっている患者さんも  
多く、病院の雰囲気も明るいです。

——和合病院野球部というと、強  
豪という印象がございましたが、ズ  
バリ、その強さの秘訣は何でしょ  
う？

**監督** 選手一人一人が、自分の役  
割を理解していることですね。  
試合中、その場面で信頼できる  
選手を起用するのですが、その  
信頼に答えてくれる選手ばかり  
です。私が何も言わなくても、  
常に自分が起用される場面を想  
定し、準備をしています。私は  
目を合わせるだけです。

——ものすごいプレッシャーです  
ね。お伺いしている限り、順風満  
帆のように見えますが。

**監督** そんなことないですよ。最  
初から勝ち続けていた訳ではあ  
りませんし、今だって力を抜け  
ない、負けることもあります。  
愛知県は登録チームが多く、激  
戦区であるため、どこが勝って  
もおかしくありません。

——なるほど。では、監督はどう  
いうチームを目指していますか。

**監督** 和合病院の看板を背負って  
いるので、単純に勝てば良いも  
のではなく、マナーから全てに  
おいてトップクラスのチームで  
ありたいと思っています。

——最後に、これからの意気込み  
をお願いします。

**監督** 一戦一戦、全力で挑むこと  
と、どれだけ良いコンディショ  
ンで当日を迎えられるかがポイ  
ントですね。100点に近い状

況で戦えるようにするのが、私  
の仕事です。国体と天皇賜杯の  
優勝を目指していきます！

——プレッシャーの中、選手一人  
一人が御自身の役割を理解し、信  
頼しあっているチームだからこそ、  
沢山の勝ち星をあげられているん  
ですね。新田監督、本日は貴重な  
お話をありがとうございました。

